



12 資源の循環
環境の持続可能性

「ロス電線」の銅を再利用

ワイヤーハーネスの製造では、電線を切断した際に電線の切れ端である「ロス電線」が発生します。1か月に約200kgほど発生するこのロス電線の多くには、銅が使用されているためそのまま廃棄せず、資源として再利用します。



ココに注目!!

ロボットの活用した
効率的な作業遂行

ワイヤーハーネスは数百本の電線や周辺機器に接続して電気を伝える端子・コネクタで構成されています。膨大な量の電線を複雑に組み合わせる作業は人の手による作業が求められますが、電線の切断や端子の圧着など、機械による作業が可能



鹿児島部品 株式会社

まちのおしごと

やってみたい仕事が見える!



VOL.25



鹿児島部品 株式会社

- 住所 鹿屋市吾平町麓 4245-2
- 電話 0994-58-5000
- 設立 平成元年 ○代表者 齋藤 崇人
- 従業員数 239人
- 平均年齢 44.2歳
- 採用実績 5人(令和5年度)
- 福利厚生 各種保険(雇用、健康、厚生年金、労災、通勤手当)



▲自社開発したロボット。設計画面に基づき、必要な部品を迅速に提供してくれる

自動化を進めつつ、人と機械の作業バランスを取りながら企業運営を行っています。

な工程では積極的に機械化を図っています。また、近年目覚ましい発展を遂げているAI技術の導入を目指し、独自開発したロボットを活用して作業に必要な端子・コネクタ等を自動で選択・提供してくれる仕組みを作りしました。これにより作業時間の削減やヒューマンエラーの防止につながっています。今後も省力化できる工程は

弊社では、自動車のドア部分に取り付けるワイヤーハーネスを中心に製造を行っています。自動車は購入者によってオプションが異なることから、ワイヤーハーネスの配列も多種多様。そのため製造を完全に機械化することは困難

であり、人間による手作業が求められます。ワイヤーハーネスの製造には多くの人員が必要となることから、年齢や性別を問わず幅広い世代の従業員が勤務しています。子育て世帯やシニア世代も多く、多様な働き方ができるような福利厚生の充実にも力を入れています。

近年、ワイヤーハーネスの生産工場の多くは人件費が安価な海外に展開されており、国内での製造はごく少数に限られています。そのような状況下でも、日本人のきめ細やかなものづくりの心で、価格だけではなく、品質にもこだわった製品を提供し続けていきます。



鹿児島部品株式会社
齋藤 崇人 社長

ものづくりの心で
世界品質の製品を提供

弊社は世界45か国で自動車部品や生活環境機器の製造・販売を行う、矢崎総業株式会社の関係会社として平成元年に吾平町上名で開業し、その翌年に現在の吾平町麓に移転しました。

私の仕事

私は、ワイヤーハーネスを製造するラインの責任者をしています。製造に必要な電線・端子の在庫管理や人員配置など、効率的にラインが回るようにサポートを行うのが主な業務です。職場はラインで作業を行うので、みんなで助け合う雰囲気があり、協力し合いながら仲良く業務を行っています。ペテランの人が新人をサポートする体制もあり、働きやすいと感じています。

今は一つのラインを管理していますが、ゆくゆくは全体を管理し、会社全体をより良くしていけるような立場を目指して、今後も業務に励んでいきたいです。



後工程課 ラインリーダー
堀 清隆 さん
(入社9年目)

肝付町出身、旭原町在住の31歳。好きなことはおしゃべりをするので、毎月のように市外にショッピングに行くほど、洋服には目が無い。

おすすめスポット

先日、利用させていたいただいたのが「楽食酒場 Re:quest」さんです。お店の雰囲気良く、個室居酒屋なので落ち着いて食事を楽しんだり、談笑したりすることが出来ます。

おすすめのメニューは「鳥の刺し盛り」で、ほんのり甘いお肉はかみしめるほどに旨みがあり、お酒と一緒に食べるとより楽しめると思います。

他にも絶品メニューが満載でとても素敵なお店ですので、ぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。



楽食酒場 Re:quest

〒893-0014
鹿屋市寿2丁目14-29
☎0994-45-5352
店休日 水曜日
営業時間 18:00～24:00

